

<②子育て世代及び関係者>



インタビューテーマ

1 大船渡市の強み（自慢できる点、好きな点など）弱み（課題や不安な点など）について

【強み】

- ・自然が豊か。産後ケアホテルを利用する母親から、「眺めやお風呂が最高で癒される」と好評なこと。
- ・自然に恵まれ、海の幸が新鮮でおいしいこと。大船渡温泉も景色が良く魅力的。
- ・自然が豊かで、人が優しく、皆で支えようという雰囲気があること。一度大船渡を出た人から見て、帰郷場所としてしっかりしていること。
- ・自然が豊かで海も山もあり、食材が素晴らしいこと。また、震災を経験し、隣同士の繋がりが大きく人が優しいことも魅力。新しい店もでき、夜も賑わいがあると感じる。
- ・魚がおいしい。きれいに整備された公園が多く近場にあることも魅力。10年前に比べて、子育て支援が手厚くなっていると感じる。
- ・自然が豊かなこと。市外の親戚も夏休みに大船渡に来たがっている。海などの自然を楽しめる良い場所だと思う。
- ・自然が豊かで人が優しいこと。夏祭り、七夕、花火などお祭りが盛んで、児童数が減っても伝統を継続してくれている。
- ・子育て支援センターが充実していると感じる。また、行政と市民の距離が近く、市長の顔を見て話せる機会があるのはいいことだと思う。市民の声を聞いて動こうとしてくれると感じる。

【弱み】

- ・働く場がないこと。また、若い人たちの集まり場所（カラオケ店など）がないこと。子ども服の販売店が少ないため、気軽に子どもの買い物ができる店もほしい。
- ・何もないこと。若者が集まる場がないこと。公共交通機関の便が良ければ、若者を支えられるシステムになるのではないかな。
- ・立根町周辺には公園が少なく、小中学生の行き場がない。最近は熊の心配もある。雨や暑い日でも小学生以上が体を動かせる室内型の遊び場が充実してほしい。
- ・少子化で児童数が減っていること。後継者不足による店じまいが多いこと。
- ・中高生が過ごす場所や映画館などが少ないこと。進学で外に出て戻ってきたいと思える場所にしてほしい。また、子育て世代で起業したい人が多く、チャレンジショップや使いやすい補助金制度があるとよい。

- ・出産できる施設や子ども用品を買い揃える場所が限られていること。熊が出るため、夏に公園に行けない日もある。中高生など大きい子が過ごす室内施設（図書館や複合施設など）がないと感じる。

2 まちを良くするために行政に期待すること 将来こうあってほしい大船渡

- ・将来も大船渡はこのまま市民に寄り添った行政であってほしい。
- ・転勤で市外に出ても、遊びに来たら「おかえり」と迎えてくれる町であってほしい。
- ・市長と顔を合わせて話せる場を今後も継続して開催してほしい。
- ・新たなことにチャレンジしたい人に対する何かしらの支援があるともっといいと思う。
- ・市内の大きい公園に、他市にあるような大きい滑り台やトランポリン等の遊具を作してほしい。
- ・県外に進学した子供が将来戻ってきたいと思えるまちであってほしい。
- ・子どもが大きくなった時に帰ってくるまちになってほしい。
- ・居場所や安心できる場所としての大船渡であってほしい。
- ・学童の支援員として高校生のアルバイトを雇いたい。
- ・学童を卒所した子が大船渡に戻ってきている。指導員の研修会等に力を入れたい。
- ・市内の子育て支援センターが「子育てクローバー」という一つの団体として動いている強みを活かし、合同での縁日企画等に行政側の支援がほしい。
- ・子育て中に出会ったお母さん達との繋がり是一生の宝物。そういった繋がりを作る機会があるといい。
- ・不登校の子が増えている。不登校の子が集まれる場所や、その場所への送迎支援をお願いしたい。
- ・子育て中のママも趣味を大事にできるような、全ての市民が自分らしくいられる居場所を作してほしい。
- ・保健センター跡地や消防署跡地等の空き地を、子育て中のママたちが集える場所やマルシェ等に活用してほしい。

3 フリートーク

- ・陸前高田のアバッセの公園の滑り台が長くて楽しい。気仙沼の震災遺構の公園は滑り台が何個もあって繰り返し遊べる。駐車場からでも目が行き届き、安心できる。
- ・県立大船渡病院の利用者から、子どもを複数人連れていて、トイレに行きたい時に、少しの間でも子どもを見てくれる人がいると助かるという声があった。